

## 令和８年度摂津市市民アンケート調査結果

本市では、市民の皆様から市政に関する意見や要望をお聞きし、行政の施策の参考とさせていただくことを目的に市民アンケート調査を実施しました。

令和８年度におけるアンケート調査の集計結果をご報告します。

**【調査対象者】** 令和８年４月１日現在の住民基本台帳に記録されている１８歳以上の方で、無作為に抽出した１，０００人。ただし、摂津市議会議員及び摂津市職員を除く。

**【調査期間】** 令和８年５月１日（金）～５月２９日（金）

**【調査方法】** 書面（郵送回収）及びWEBによるアンケート調査

**【調査内容】**

- １．市の取組に対する意識について
- ２．ごみに関することについて
- ３．自治会・町会について
- ４．行政に期待する取組について

---

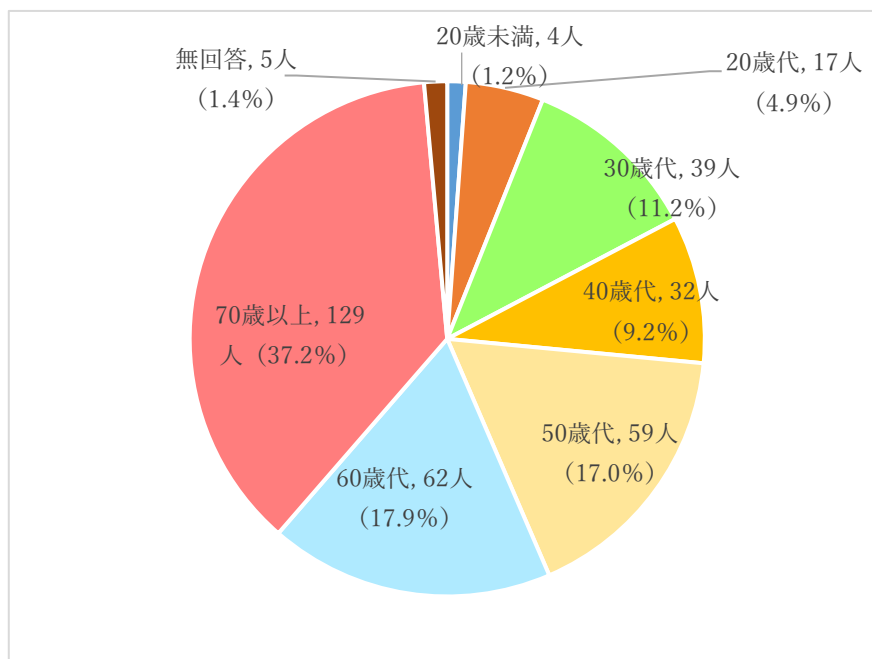
◆アンケート調査対象者：１，０００人

◆アンケート調査回答者： ３４７人

◆回収率： ３４．７％（回収率のうちWEB回答 ２５．６％）

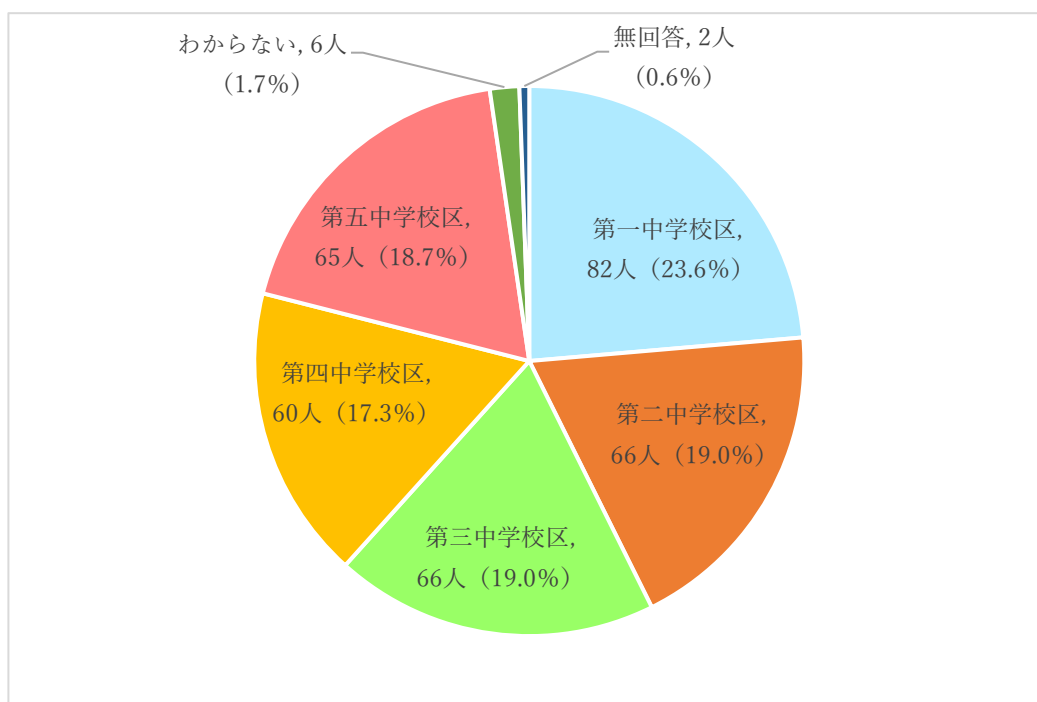
## 《 1. 年齢 》

【回答者 347 人（うち無回答 5 人）】



## 《 2. お住まいの地域 》

【回答者 347 人（うち無回答 2 人）】



## アンケート調査結果

### 《 1. 市の取組に対する意識調査について 》

本市では「みんなが育む つながりのまち 摂津」をめざす将来像とし、様々な取組を行っています。この度は、皆様が普段感じておられる印象をお聞きし、市政の参考とさせていただきますたく存じますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

(% ※小数点 2 桁以下四捨五入)

| 質問項目                                        | はい   | どちらか<br>と言えば<br>「はい」 | どちらか<br>と言えば<br>「いいえ」 | いいえ  | 無回答 |
|---------------------------------------------|------|----------------------|-----------------------|------|-----|
| Q 1 あなたは、毎月発行している広報紙での情報提供に満足されていますか        | 26.8 | 55.0                 | 12.7                  | 3.2  | 2.3 |
| Q 2 あなたは、市のホームページでの情報提供に満足されていますか           | 16.4 | 51.0                 | 20.2                  | 6.3  | 6.1 |
| Q 3 あなたは、地域の活動(※)に参画されていますか                 | 18.7 | 8.4                  | 10.4                  | 60.2 | 2.3 |
| Q 4 あなたは、摂津市が自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだと思いますか    | 9.5  | 17.3                 | 18.7                  | 52.4 | 2.0 |
| Q 5 あなたは、摂津市の治安が良いと思いますか                    | 15.9 | 54.8                 | 21.6                  | 5.2  | 2.6 |
| Q 6 あなたは、食料や飲料、非常用持ち出し袋など、災害時の備えをしていますか     | 17.3 | 31.4                 | 29.1                  | 20.2 | 2.0 |
| Q 7 あなたは、「摂津市は災害に強いまちづくりが進んでいる」と思いますか       | 3.2  | 28.2                 | 47.8                  | 17.3 | 3.5 |
| Q 8 あなたは、公園や緑地・緑道を利用しますか                    | 21.6 | 21.3                 | 25.1                  | 30.3 | 1.7 |
| Q 9 あなたは、摂津市内で花苗をよく目にしますか                   | 26.8 | 38.9                 | 20.2                  | 12.4 | 1.7 |
| Q 10 あなたは、家庭で植物を育てていますか                     | 42.7 | 13.5                 | 7.8                   | 34.3 | 1.7 |
| Q 11 あなたは、自身の周りで人権侵害があると思いますか               | 3.7  | 9.5                  | 32.9                  | 51.3 | 2.6 |
| Q 12 あなたは、直近 1 年間で性別による利益または不利益を感じたことがありますか | 3.2  | 4.0                  | 19.3                  | 71.8 | 1.7 |
| Q 13 あなたは、災害時や日常生活で困った時、近所に頼れる人がいますか        | 23.1 | 30.3                 | 19.6                  | 24.8 | 2.3 |
| Q 14 あなたは、摂津市が高齢者にとって暮らしやすいまちだと思いますか        | 7.2  | 35.2                 | 36.3                  | 19.0 | 2.3 |

Q 3 (※) 自治会、老人クラブ、こども会、NPO 法人、各種ボランティア等の活動のこと

| 質問項目                                                     | はい   | どちらか<br>と言えば<br>「はい」 | どちらか<br>と言えば<br>「いいえ」 | いいえ  | 無回答 |
|----------------------------------------------------------|------|----------------------|-----------------------|------|-----|
| Q 1 5 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、お互いを尊重し、支え合って暮らすことができていると思いますか | 17.0 | 53.9                 | 21.3                  | 4.6  | 3.2 |
| Q 1 6 あなたは、地域で子どもを見守り育む環境が整っていると思いますか                    | 8.4  | 45.0                 | 34.0                  | 9.2  | 3.5 |
| Q 1 7 あなたは、直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をされましたか                      | 18.7 | 12.1                 | 12.7                  | 54.5 | 2.0 |
| Q 1 8 あなたは、週1回以上運動・スポーツをされていますか                          | 26.8 | 13.8                 | 14.1                  | 43.5 | 1.7 |
| Q 1 9 あなたは、直近1年間で消費者トラブルに遭いましたか                          | 2.0  | 2.9                  | 5.5                   | 88.2 | 1.4 |
| Q 2 0 あなたは、摂津市に住み続けたいと思いますか                              | 30.3 | 44.7                 | 15.9                  | 7.8  | 1.4 |
| Q 2 1 あなたは、オンライン申請など、デジタル化によって摂津市で行われる手続きが便利になったと思いますか   | 17.3 | 32.9                 | 28.8                  | 15.6 | 5.5 |

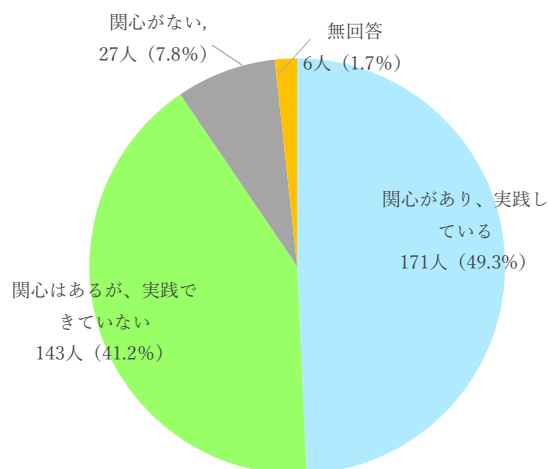
## 《2. ごみに関することについて》

本市では令和8年3月に一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行い、令和12年に向けて新たな目標値を設定しました。

今後の本市のごみ減量・リサイクル施策の検討を行う上で、参考にさせていただきますので皆様のご協力をお願いいたします。

**Q1：あなたは、ごみの減量や資源化に対する取組に関心がありますか。次の中から 1つ選んで □ に✓をご記入ください。**

【回答者 347 人（うち無回答 6 人）】



### 【集計結果】

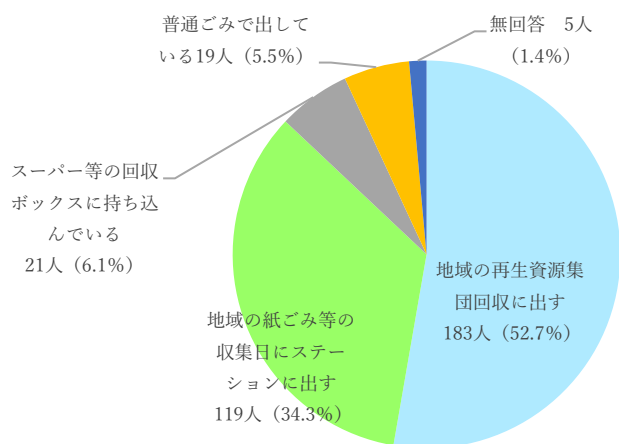
「関心があり、実践している」が 171 人（49.3%）と最も多く、次いで「関心はあるが、実践できていない」が 143 人（41.2%）となりました。

### 【考察】

両者を合わせると約 90%の市民がごみの減量や資源化に関心を持っており、市民の環境意識の高さがうかがえます。一方で、関心はあるものの実践に至っていない層（41.2%）も多く存在するため、日々の生活の中で手軽に取り組める行動を提案するなど、実践へのハードルを下げる啓発活動が求められます。

Q2：あなたは、紙ごみ等（新聞・ダンボール・雑誌・古着）をどのように処理していますか。次の中から 1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 347 人（うち無回答 5 人）】



#### 【集計結果】

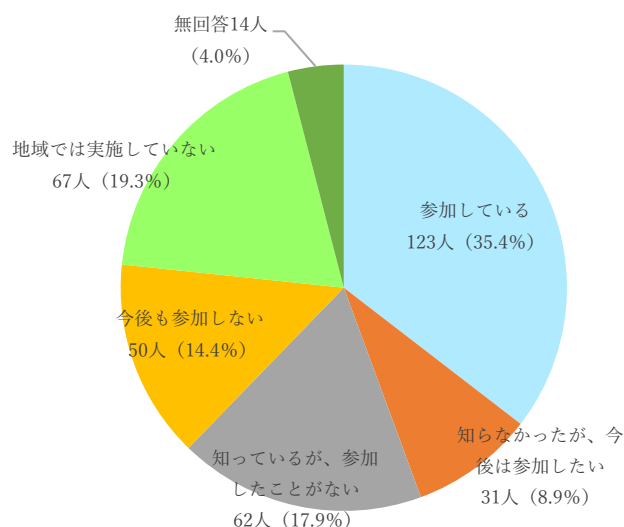
「地域の再生資源集団回収に出す」が 183 人（52.7%）と半数を超え、次いで「地域の紙ごみ等の収集日にステーションに出す」が 119 人（34.3%）となりました。「普通ごみで出している」との回答も 19 人（5.5%）ありました。

#### 【考察】

多くの市民が適切に資源化ルートを活用しており、特に集団回収が最も身近な処理方法として定着していることがうかがえます。一方で、普通ごみとして廃棄している層も一定数存在するため、紙ごみ等が大切な資源であることの再周知と、適切な分別への誘導が引き続き必要です。

Q3：あなたは、地域で行われている再生資源集団回収に参加していますか。  
次の中から 1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 347 人（うち無回答 14 人）】



#### 【集計結果】

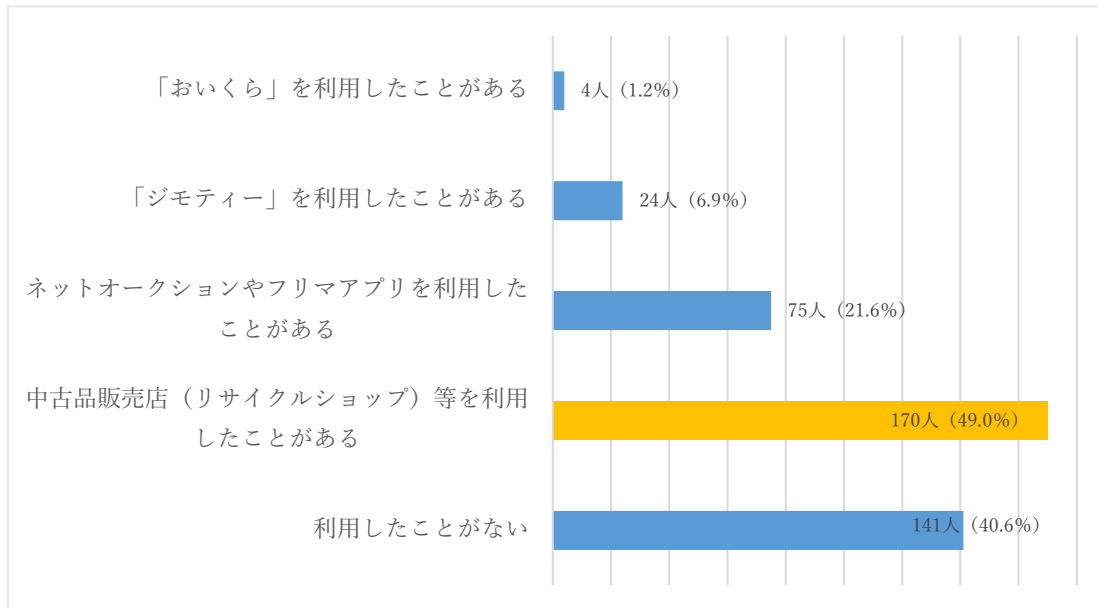
「参加している」が123人（35.4%）と最も多い結果となりました。一方で、「地域では実施していない」が67人（19.3%）、「知らなかったが、今後は参加したい」が31人（8.9%）となっています。

#### 【考察】

市民の参加意欲はあるものの、住んでいる地域で実施されていなかったり、実施の事実を知らなかったりする層が約3割存在します。「地域では実施していない」（19.3%）という回答が約2割に上ることから、居住地域によって参加機会に差が生じていることがうかがえます。また、「知らなかったが、今後は参加したい」（8.9%）という潜在的な参加意欲を持つ層がいる一方で、「知っているが、参加したことがない」（17.9%）と「今後も参加しない」（14.4%）を合わせた3割以上の層は、制度を認知していても参加に至っていません。このことから、地域ごとの実施状況の偏りや周知不足といった「環境・情報の課題」と、制度を知っていても行動をためらわせる「心理的・物理的ハードル（手間の負担感など）」の2点が、参加率向上を阻む要因としてアンケート結果から読み取れます。

**Q4：あなたのリユース（ものを捨てずに繰り返し使用すること）の経験についてお聞きます。（複数選択可）**

【回答者 347 人】



【集計結果】

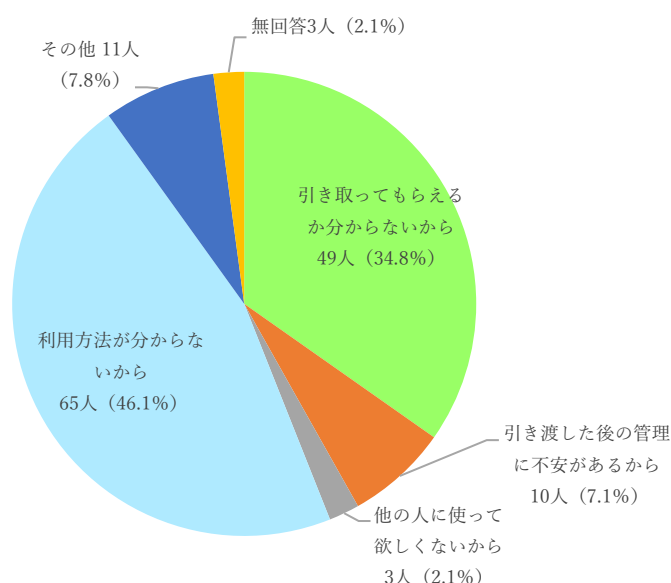
「中古品販売店（リサイクルショップ）等を利用したことがある」が 170 人（49.0%）と最多でした。「ネットオークションやフリマアプリを利用したことがある」も 75 人（21.6%）となっています。また、「利用したことがない」との回答は 141 人（40.6%）でした。

【考察】

実店舗である「中古品販売店（リサイクルショップ）等」の利用が 5 割に迫る数値となっており、リユースの手段として最も定着していることがうかがえます。また、「ネットオークションやフリマアプリ」をはじめとするデジタルツールの利用も一定の割合を占めています。一方で、「利用したことがない」と回答した市民も 4 割（40.6%）存在しており、リユースを日常的に取り入れている層と、そうでない層で利用経験が分かれている傾向が見られます。

Q5：Q4で「利用したことがない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 141 人（うち無回答 3 人）】



#### 【集計結果】

利用しない理由として「利用方法が分からないから」が 65 人（46.1%）と最も多く、次いで「引き取ってもらえるか分からないから」が 49 人（34.8%）となりました。「引き渡した後の管理に不安があるから」は 10 人（7.1%）、「他の人に使って欲しくないから」は 3 人（2.1%）にとどまっています。

#### 【考察】

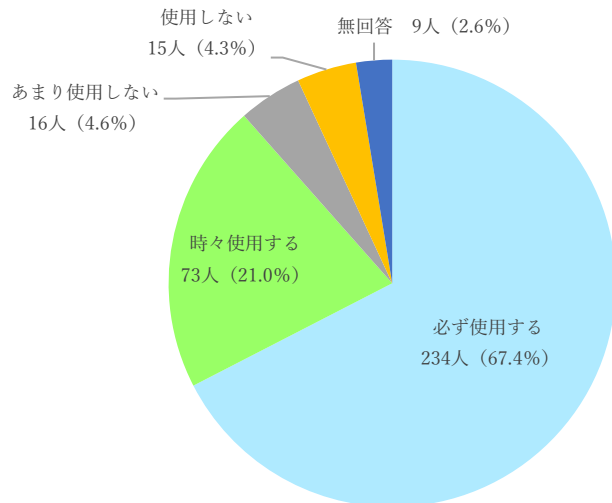
リユースを利用しない最大の障壁は、「利用方法が分からないから」（46.1%）と「引き取ってもらえるか分からないから」（34.8%）の 2 項目で全体の約 8 割を占めており、知識不足といった「情報の不足」であることが明確になりました。一方で、他人に譲ることへの抵抗感や引き渡し後の管理への不安といった、リユース自体に対する心理的な拒否感を持つ層は 1 割未満と少数派です。このことから、市民のリユースに対する意識的な障壁は低く、具体的な手順や引き取りの基準がわからないという「情報の壁」が、利用行動を阻む最大の要因になっていることがアンケート結果から読み取れます。

#### 【その他の意見】

- ・自分もいらないので相手もいないと思う。
- ・興味がない。
- ・いつかまとめてしようと思っているため。
- ・他の人が使ったものを使いたくない。

Q6：あなたは、エコバッグ（マイバッグ）を使用していますか。次の中から  
1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 347 人（うち無回答 9 人）】



【集計結果】

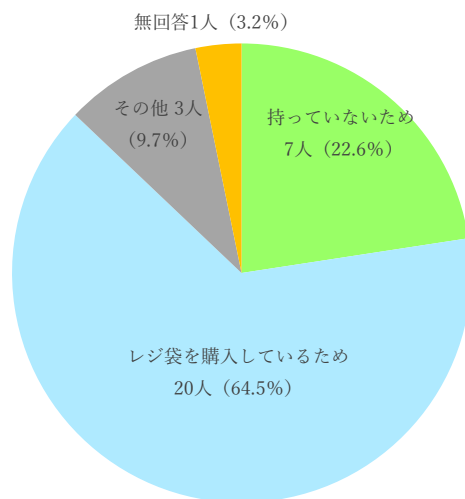
「必ず使用する」が 234 人（67.4%）と約 7 割を占め、「時々使用する」の 73 人（21.0%）と合わせると、約 9 割の市民がエコバッグを使用している結果となりました。

【考察】

エコバッグの使用が市民の日常的な購買行動として非常に高く定着していることが確認できました。レジ袋削減の取組は十分に浸透していると言えます。

Q7：Q6で「あまり使用しない」又は「使用しない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 31 人（うち無回答 1 人）】



#### 【集計結果】

使用しない理由として「レジ袋を購入しているため」が 20 人（64.5%）で最多となり、「持っていないため」が 7 人（22.6%）となりました。

#### 【考察】

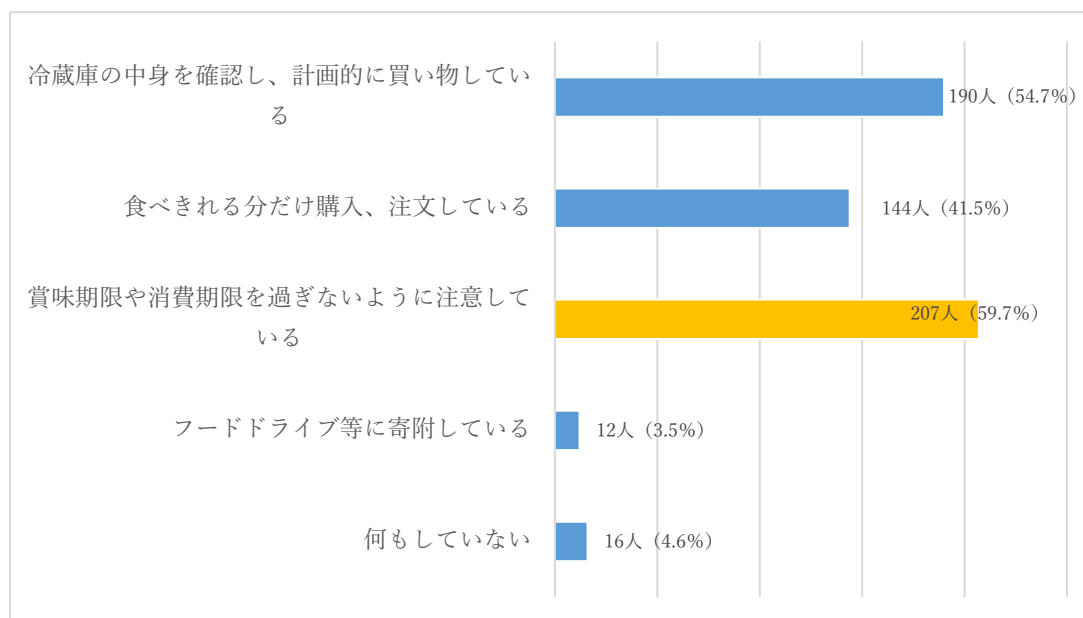
エコバッグを使用しない層（31 人）の回答を分析すると、不使用の最大の要因は「レジ袋を購入しているため」（64.5%）であり、全体の 6 割強を占めています。また、「持っていないため」（22.6%）と回答した層も 2 割強存在しており、そもそもエコバッグを所有する習慣自体がない市民も一定数いることがわかります。

#### 【その他の意見】

- ・レジ袋をゴミ袋などに使用するため。
- ・スーパーの袋をゴミ袋として使用しているから。
- ・外出時に時々忘れるため。

**Q8：あなたは、食品ロス（本来食べられるのに捨てられてしまう食品）削減の取組を行っていますか。（複数選択可）**

【回答者 347 人（うち無回答 6 人）】



**【集計結果】**

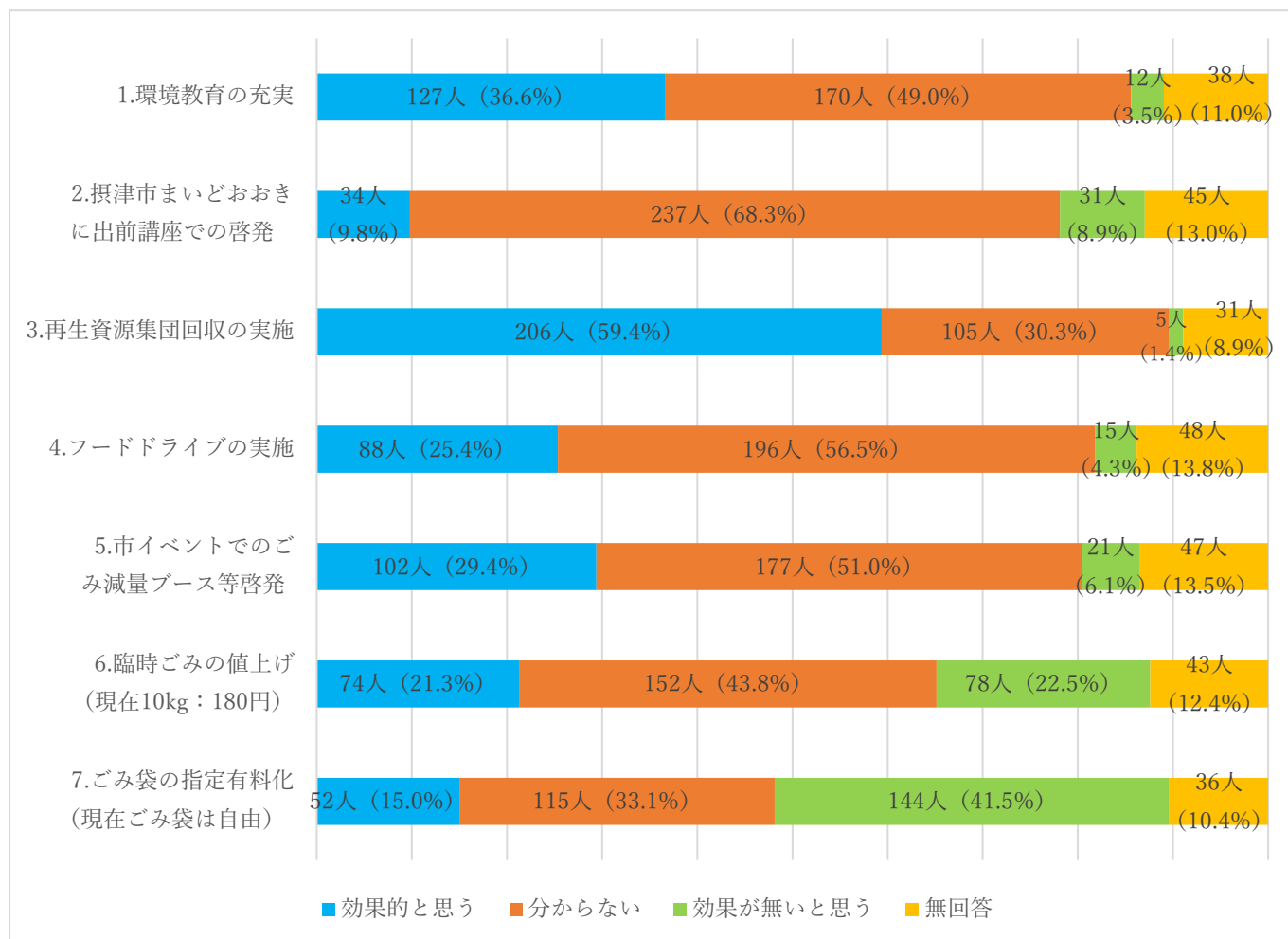
「賞味期限や消費期限を過ぎないように注意している」が 207 人（59.7%）と最も高く、「冷蔵庫の中身を確認し、計画的に買い物している」が 190 人（54.7%）、「食べきれ分だけ購入、注文している」が 144 人（41.5%）と続きました。一方で「フードドライブ等に寄附している」は 12 人（3.5%）にとどまりました。

**【考察】**

「賞味期限の管理」や「計画的な買い物」など、日々の生活で無理なく実践できる自己管理型の対策が広く定着しています。一方で、「フードドライブ等への寄附」は 3.5%にとどまり、「何もしていない」と回答した層（4.6%）を下回る水準でした。自身の消費行動を管理するハードルは低い反面、家庭内の余剰食品を外部へ持ち出すような社会参加型の取組は実践する層が極めて限定的であり、行動の種類によって実践率に大きな差があることがうかがえます。

Q9：あなたが、ごみの減量や資源化への取組のために、市の施策で効果的であると思う項目は何ですか。項目ごとに 1つ選んで □ に✓をご記入ください。

【回答者 347 人】



#### 【集計結果】

「再生資源集団回収の実施」が206人（59.4%）で最も効果的と評価され、「環境教育の充実」が127人（36.6%）と続きました。一方、「臨時ごみの値上げ」や「ごみ袋の指定有料化」など負担増を伴う施策は効果がないとする回答が多く、「フードドライブの実施」や「出前講座での啓発」は認知度の低さが課題として浮かび上がっています。

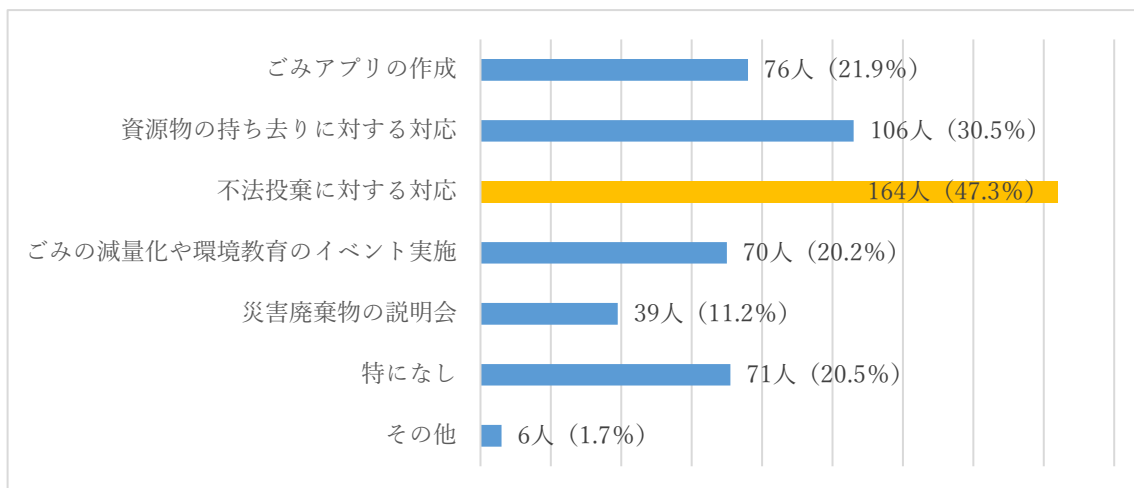
#### 【考察】

「再生資源集団回収」などの身近で実践的な取組を最も効果的だと評価しています。一方で、「ごみ袋の指定有料化」や「臨時ごみの値上げ」といった市民への負担を求める施策に対しては、効果を疑問視する声や反発が強いことが明確に表れています。また、「出前講座」や「フードドライブ」については「分からない」という層が大半を占めており、これらの施策自体の認知度が低い、あるいは具体的な効果がイメージされていない状態です。今後は、認知度の低い施策の積極的な周知活動が必要不可欠です。

## Q10: あなたは、摂津市のごみ施策について、どのようなことを望みますか。

(複数選択可)

【回答者 347 人（うち無回答 22 人）】



### 【集計結果】

「不法投棄に対する対応」が 164 人（47.3%）と最も多く、次いで「資源物の持ち去りに対する対応」が 106 人（30.5%）と続きました。これらに次いで「ごみアプリの作成」が 76 人（21.9%）、「ごみの減量化や環境教育のイベント実施」が 70 人（20.2%）となっています。

### 【考察】

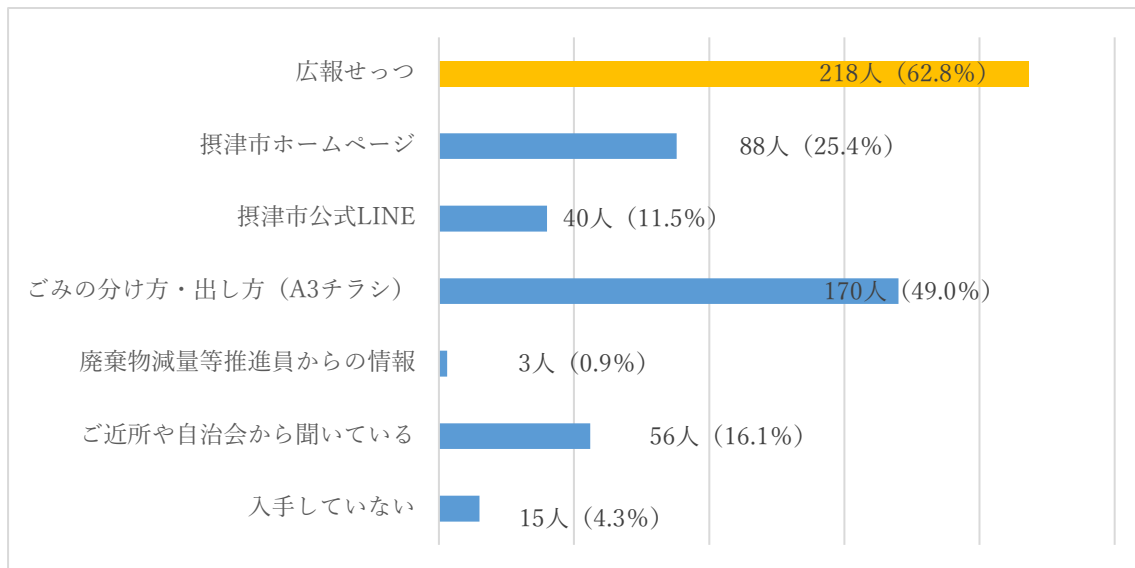
市民からの要望は、不法投棄や資源物の持ち去りといった、地域の住環境や治安・モラルに直結する切実な課題への対応に強く集中しています。行政には、ルールの徹底やパトロール強化など、市民が安心できる環境づくりへの毅然とした対応が求められていることがわかります。また、3 番目に「ごみアプリの作成」が支持されていることから、ごみの分別方法や収集日などをスマートフォン等で手軽に確認したいという、利便性向上を求めるデジタルツールへのニーズも着実に高まっていることがうかがえます。

### 【その他の意見】

- ・自治会で班長など当番に当たった際に、正しい出し方をしない人がいて困る。汚れたままの缶を入れている、ペットボトルの中にサラダ油の容器を入れるなど、最終的に班長が片づけなくてはならない。
- ・回収できる資源ごみを増やしてほしい。牛乳パックやペットボトルのキャップ等、近場で出せるようにしてほしい。
- ・大正川などのごみ。ポイ捨てもあるが、雨の度に上流から流れてきて引っかかっている。遊歩道などごみ拾いしてくれている方々へは感謝しています。
- ・ごみ袋はこのまま自由にしてもらいたい。有料化は×。
- ・監視カメラ設置などで不法投棄や持ち去りの対策・防止。
- ・なんだか根本的に違うような気がする（選択肢が）。市がリサイクル、リユースにどんな取組をしてるかもっと知りたい。
- ・高齢者が増え、資源ごみのコンテナの準備が大変。
- ・複雑ごみと普通ごみの捨て方の違いがわからない。

**Q11：あなたは、摂津市のごみに関する情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択可）**

【回答者 347 人（うち無回答 9 人）】



**【集計結果】**

「広報せつつ」が 218 人（62.8%）で最多となり、次いで「ごみの分け方・出し方（A3 チラシ）」が 170 人（49.0%）でした。デジタル媒体では「摂津市ホームページ」が 88 人（25.4%）、「摂津市公式 LINE」が 40 人（11.5%）となっています。また、「ご近所や自治会から聞いている」は 56 人（16.1%）で、一定数の市民が地域コミュニティを情報源として活用していることがわかります。

**【考察】**

「広報せつつ」や「A3 チラシ」といった従来からの紙媒体が、現在も市民にとってごみに関する情報を得るための圧倒的な主要手段であることが明らかです。手元に置いてすぐに確認できる紙の利便性が高く評価されていると考えられます。一方で、ホームページや LINE などのデジタルツールの利用はまだ限定的な層にとどまっています。今後は、高齢者等へ配慮して既存の紙媒体を継続しつつ、Q10 で要望のあった「ごみアプリ」の導入検討や LINE のプッシュ通知を活用するなど、デジタル媒体の利便性をさらに高め、若い世代にも情報を届きやすくする工夫が望まれています。

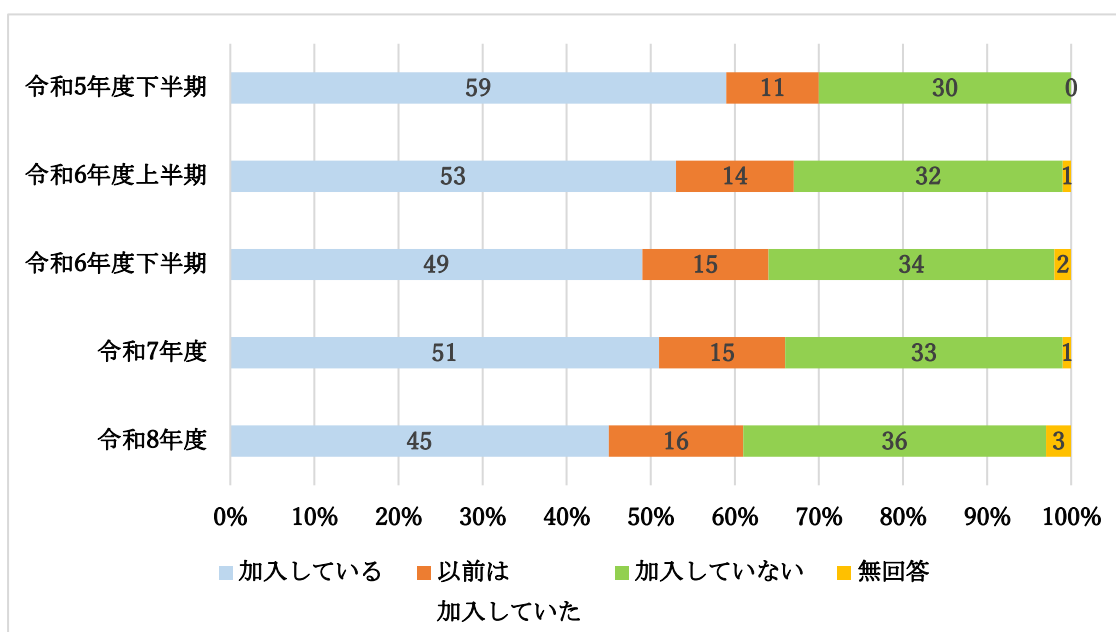
### 《 3. 自治会・町会について 》

地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町会。今後の自治会・町会活動のあり方を考えていく上で、皆様からのご意見をお聞かせください。

Q1：あなたは今、自治会・町会に加入していますか。次の中から 1 つ選んで ください。

【令和8年度 回答 347 人（うち無回答 11 人）】

(%)



#### 【集計結果】

「加入している」との回答が 157 人、45%と最も高い数値となりました。

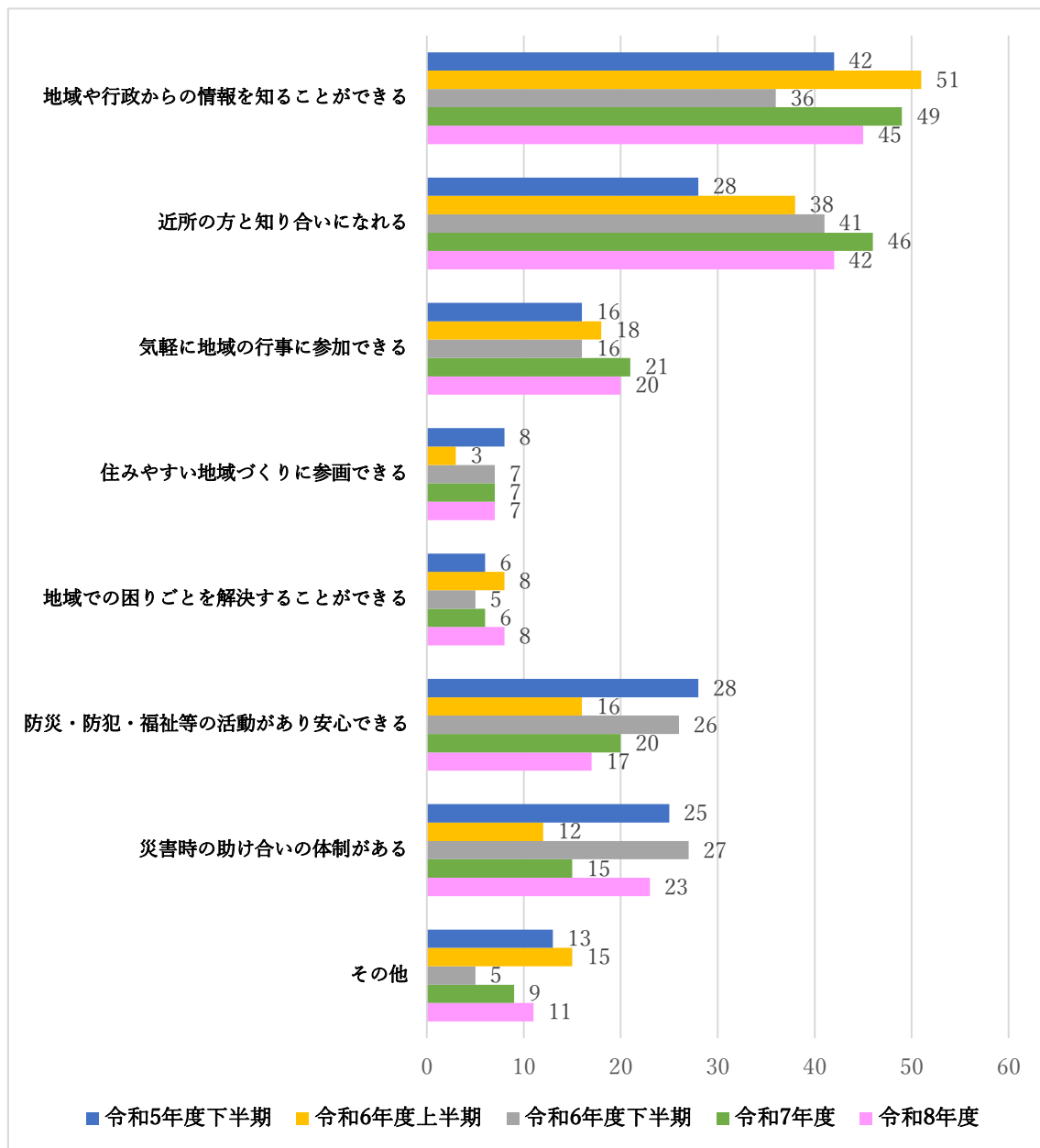
#### 【考察】

自治振興課の調べでは、令和8年4月1日現在で自治会加入率は 36.8%となっています。加入率は、令和5年度で 43.4%、令和6年度で 41.5%、令和7年度で 38.6%となっており、年々減少傾向にあります。

Q2：Q1で「加入している」と回答した方に伺います。自治会・町会に加入して良かったことは、何ですか。次の中から2つまで選んでください。

【令和8年度 回答者 157 人（うち無回答 8 人）】

(%)



### 【集計結果】

自治会・町会に加入して良かった理由として、令和8年度は地域や行政からの情報を知ることができる」との回答が最も高い数値となりました。

### 【考察】

加入者が感じる最も大きなメリットが「情報取得」にあることは、自治会が現在も地域と行政をつなぐ情報伝達の役割を果たしていることを示しています。次に、「近所の方と知り合いになれる」という回答が多くなっており、自治会への加入が住民同士の顔の見える関係をつくり、地域でのつながりを育む機会になっていると考えられます。

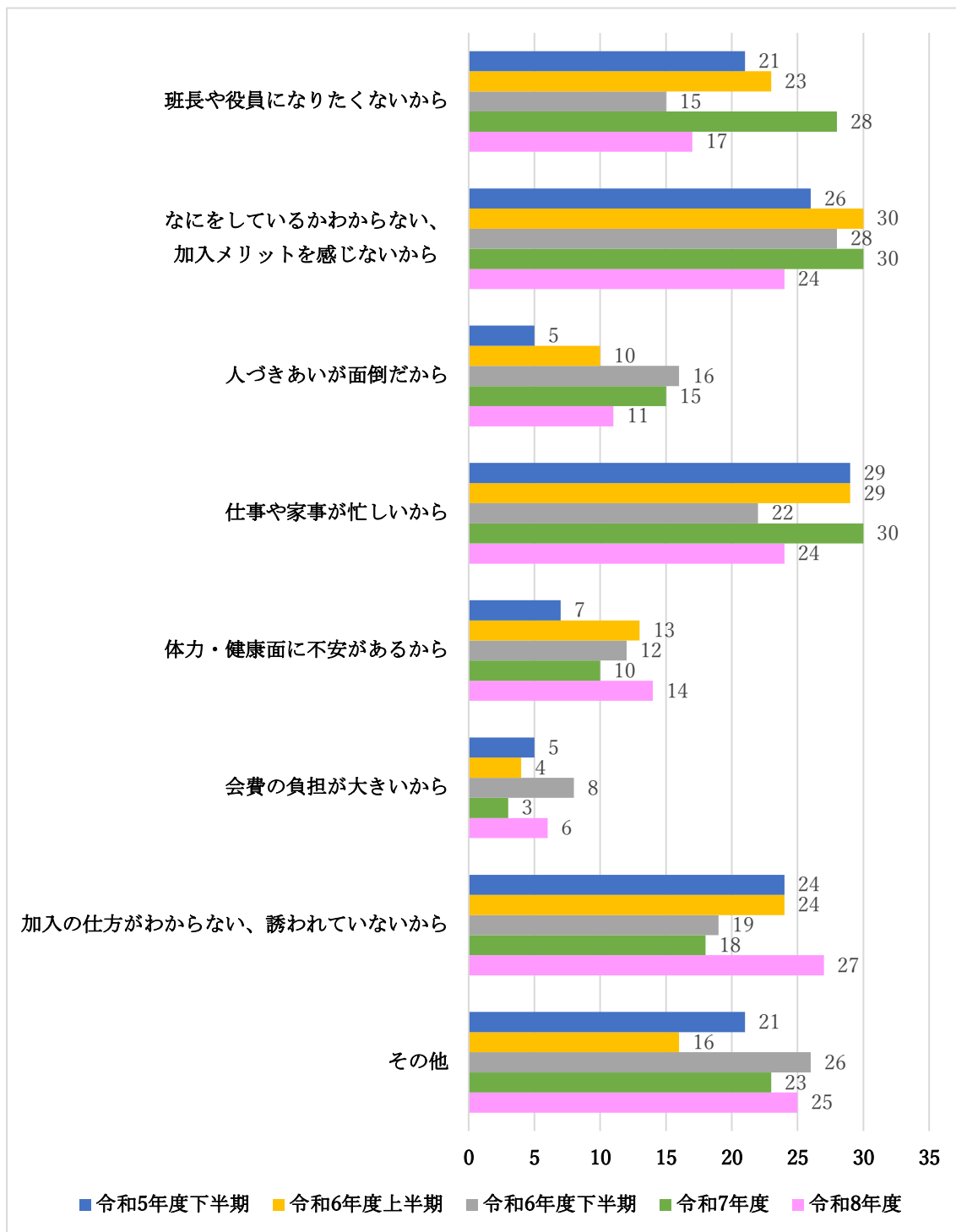
#### ◆その他の回答

- ・良かったと思うことを感じれない。
- ・決まりだから。
- ・自治会費の値下がり。
- ・サブスクな感じ。
- ・雰囲気的に入らないといけない気がするから。
- ・自治会があることはいい事だと思っているが、昔と時代が変わり平日は仕事に行く人も多く、家庭事情もそれぞれあるなかで自治会の活動に時間は割けない。順番だからと班長にされるのも違うのではないか。もう少し時代にあったやり方を考えてください。
- ・今の自治会はメリットがない。
- ・家系的に加入が必須感がある。
- ・マンションで加入が必須だから。
- ・自然に入っている。
- ・今後無くなると聞いている。

Q3：Q1で「以前は加入していた」「加入していない」と回答した方に伺います。自治会・町会を脱会された理由又は加入していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

【令和8年度 回答者 179 人（うち無回答 6 人）】

(%)



#### 【集計結果】

自治会・町会を脱会された理由又は加入していない理由として、令和8年度では「加入の仕方がわからない、誘われていないから」との回答が最も多い結果となりました。

## 【考察】

未加入・脱会の理由として最も多かったのが「加入の仕方がわからない、誘われていないから」であった点は、自治会離れの要因が必ずしも拒否感や負担感だけではなく、そもそも自治会との接点がないことが要因だと推察されます。自治会に対して否定的だから入らないのではなく、そもそも接点がなく、参加のきっかけを持てていない層が相当数いると考えられます。

### ◆その他の回答

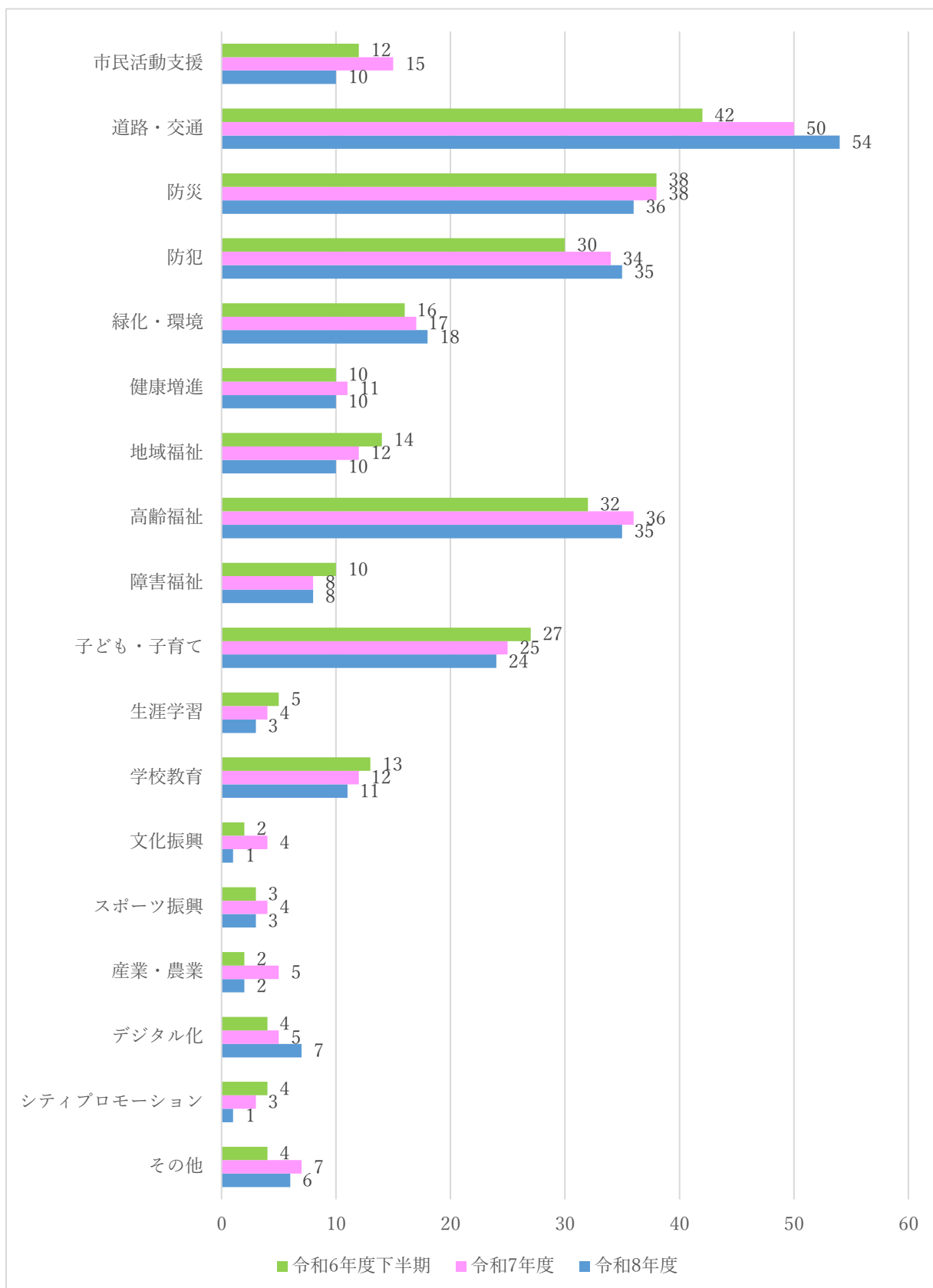
- ・何も言われた事も聞いた事もない。
- ・自治会が解散したので。
- ・自治会がない。
- ・意味がない。今どき古い。やりたい人だけがやればいい。
- ・賃貸住宅のため。
- ・自分のしたくないことを押し付けられたり、募金を強制でとられるから。
- ・マンションの管理組合に入っている。
- ・班での会員が1人となったため。
- ・以前、水道料金と一緒に払っていたが、今、自治会費が0円である。
- ・組員が少ないので役員がすぐくる。
- ・賃貸住宅住まいで町内会の説明は借りる当初なかったため未加入のまま。
- ・鳥飼下地区から越してきた。鳥飼西地区では自治会に入っていない。
- ・マンション住まい。
- ・自治会の役員さんの考えが理解できない。
- ・高齢化で自治会が無くなった。
- ・マンションに転居して地元自治会への加入は無くなった。
- ・会長をし、班長さんと相談しながら簡略化したら、自治会を潰す気かと言われ辞めさせられた。
- ・親が加入。
- ・子供もいないし、役もしたくない!!
- ・マンションに自治会がない。現在地域に問題があり自治会の大切さを実感している。  
(地域としても新しい地域で自治会がない→千里丘新町) マンションも自治会を作るか地域に自治会があれば加入するか決まりを作ってほしい。
- ・藤森神社の祭りの打合せ、会合、後片付け、火の番など、高齢になって来る程、組長になった年は、つらかった。
- ・自治会費が高い。妻が病気で看病しなければならない。祭りやもちつき大会など参加していないのに自治会費だけ払うのはしんどい。
- ・高齢者ばかりになっており、若い人が入りにくい。

#### ≪ 4. 行政に期待する取組について ≫

本市は、行政経営戦略のもと、「みんなが育む つながりのまち摂津」を目指して、市民と行政が一体となったまちづくりを推進しています。  
 今後、行政に期待する取組は何ですか。次の中から 3つまで選んで ください。

【令和8年度 回答者 347 人（うち無回答 19 人）】

(%)



## 【集計結果】

今後、行政に期待する取組として、令和 8 年度は「道路・交通」との回答が最も多い結果となりました。この項目は令和 6 年度下半期から継続して高い関心を集めており、市民の生活に直結する重要な課題に対して、関心の高さがうかがえます。

## 【考察】

市民が「道路・交通」に最も期待している背景には、交通渋滞の緩和や安全な道路整備、公共交通の利便性向上などの切実なニーズがあると推察されます。その他の期待項目として「防犯」、「防災」や「高齢福祉」、「子ども・子育て」が挙げられており、地域の安全・安心や生活の質を向上させる施策への関心も高い結果となっています。

### ◆その他の回答

- ・バスの便が少なく病院や買い物が行けなくて不便です。鳥飼は過疎地みたいです。自転車が乗れなくなれば大変です。
- ・公園をつくってほしい。(他の市民の子達も来てくれるような)
- ・治安。
- ・摂津市で住むにはかかせない自転車が安全に走れる道路の整備やルール作り。
- ・自由に使える体育館やバスケットゴールがほしい。
- ・外国人が多くなったので、外国人トラブル等の窓口になる部署、対応できる場所を作ってほしい。モスクなどの宗教施設は摂津市が制限してほしい。
- ・渋滞緩和、キレイな水と空気、水道水の高度処理。
- ・水道料金の値下げ。
- ・2 人目以降保育料無償化(大阪市では第一子から無償化されているのに、摂津市は第二子無償化の議論すらされていないのはなぜか。)
- ・子どもの室内遊び場。
- ・インフラ整備 水道料金値下げ 住民税、固定資産税を下げる。市議会議員の数を減らす。
- ・水道代を下げたい。
- ・スーパーが少ない。
- ・子どもがいる世帯、バス少ないの不便ですし高すぎ。
- ・大正川の整備をしてほしい。川幅が 1/3 ぐらいなってる。大雨などが不安です。
- ・病院の充実 医療の充実を強く願います。
- ・車の運転ができない人にとって活動が制限されてしまうほど不便。セッピーバスのルート変更やオンデマンドバスなどを取り入れて欲しい。
- ・私が住んでいるマンションでハトのえさやりをしている人がいて困っている。えさやり禁止にしてほしい。